

---

# 万年堂の子供達

彩彦

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

万年堂の子供達

### 【NZコード】

N1965D

### 【作者名】

彩彦

### 【あらすじ】

冬の入り始め、僕は走る。子供になる為に。

「万年堂の奥に扉があるの知ってる?  
その扉はね。いろんな世界に通じてるんだって」

知らないはずが無い。

俺達が小学生の時流行った嘘。  
いわゆる都市伝説ってやつだ。

「恵子はオキラクだね。高校生にもなつてそんな夢物語を信じているの?」

胸のポッケからタバコを一本取り出す。

「夢があるつていい事だとおもつんだけどなあ  
少女はぴょんと縁石、あの道に沿つて盛り上がつたコンクリートの  
上に飛び乗つた。

「達彦君は夢が無いの。だからタバコなんかに逃げちゃうんだよ。」

耳が痛いなあ。的を突いている。

自嘲氣味にクスリと笑つて、火を付ける。

吐き出した煙は、冬のこの街に溶けていく。

俺もこの煙みたいに、街の一部になつていくんだらう。

「駄菓子屋の奥にひつそりとある真っ黒い扉。  
まあ刺激に飢えてるヤツには格好の餌だわな。」

特に未だ世界には不思議が溢れている。とか考えちゃうお子様には。

「ねえ? 確かめに行こうよ。」

あたし達がまだ子供だったことを

噂では、扉は子供しかくぐる事ができず、中は自分の夢や願望が叶う世界があるらしい。

俺は来年から社会人になる。

果たしてくぐる権利があるのだろうか？

ちょうどバスが来て、恵子は俺の声を無視して飛び乗ってしまった。

ため息を吐いて、タバコを地面でもみ消す。

恵子は人もまばらなバスの最後尾に陣取り、外を眺めていた。

「そんなに急いで、どんな世界に行きたいんだ？」

「達彦君が私と一緒に大学に行く世界」

「あのなあ・・・」

俺だって好きで社会人になる訳じやない。

ただ、仕方の無いことなのだ。

「解つてるよ！」

でも、今の達彦君は無理してる感じがする

昔はもっと笑ってたもん

それつきり会話は途絶えてしまった。

万年堂前～万年堂前。

間延びしたアナウンスが流れ、子供達は降りる。  
プシューというドアが閉まる音がして、大人を乗せたままバスは進む。

思えば、子供で無くなってしまったのはいつだつたのか。  
彼女はあの黒いドアをぐぐる事ができるのだろうか。  
大学生の俺と出会えるのだろうか。

実は俺は、一度あの扉を開けた事がある。

中に何があつたのかは忘れてしまつたが、ひどく興奮したのを覚えている。

俺がまだ僕だつた時に流した噂。

それが広がつて、大きくなつて、一人歩きを始めた。

そんな事を思い出した。

「すいません。降ります。」

停留所の近くにあつたゴミ箱にタバコを投げ捨てて、僕は走り出した。

すぐにわき腹が痛くなり、息は上がり始める。

それでも、心は子供のように軽やかで、無邪気に弾んでいた。

空だつて飛べそうな速さで、時間は進んでいく。

これからも大人にならなきやいけない時はあるだろう。

そんな時は万年堂へ行こう。

そこだけでは、僕は子供なんだ。

今なら、なんでもできる。



(後書き)

先日、帰省ついでにモーテルとなつた駄菓子屋へ行きました。  
おばちゃんが僕の顔を覚えていてくれたのにビックリ。

ラムネを飲みながら世間話をする時、ついこないだラムネをケース  
ごと持ち去つた子供がいるそうです。

いつの時代も悪ガキってのはいるものですね。

さて、万年堂の話は続き、といつか連載を書く気があります。見か  
けたら愚息であります。見てあげてください。こちらはメディアに  
するつもりです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1965d/>

---

万年堂の子供達

2010年10月11日02時00分発行